

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年6月28日

【評価実施概要】

事業所番号	0176400257		
法人名	株式会社 萌福祉サービス		
事業所名	グループホーム 別苑		
所在地	北海道増毛郡増毛町別苑175番1 (電話) 0164-53-9888		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年6月24日	評価確定日	平成20年7月14日

【情報提供票より】(平成20年4月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)14年11月24日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	9人	常勤	4人, 非常勤 5人, 常勤換算 6.1人

(2) 建物概要

建物構造	木造亜鉛メッキ銅版葺 造り		
	2階建ての ~ 2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,200円	その他の経費(月額)	4,740~14,190円	
敷金	有(円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)		有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	210円	昼食	263円
	夕食	346円	おやつ	105円
	または1日当たり		924円	

(4) 利用者の概要(4月1日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	3名	要介護2	2名		
要介護3	3名	要介護4	1名		
要介護5	要支援2				
年齢	平均 83歳	最低	61歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	増毛診療所・川上内科医院・しょかん歯科医院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

日本海が一望でき夕日や漁火が素晴らしい自然環境に恵まれ、複合福祉施設を運営する萌福祉サービスグループの中のグループホームのひとつです。小学校の運動会や父兄との焼肉パーティー参加など地域の人達との交流も盛んに行われていたり、地元の「山の幸」「海の幸」の食材を中心に地域貢献や季節感のある食生活にも取り組まれています。法人グループ内に「運営向上委員会」を組織して、ケアサービスの質の向上の為に内部監査を実施し、有効な再発防止策が取られマネジメントレビューで経営者による見直しを実施されてP-D-C-Aサイクルがシステムとして機能しています。また、音楽療法にも取り組まれ身体機能の維持・向上に活かされています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、認知症の広報について課題が挙げられていましたが、毎月発行されている「もえからのお手紙」に「認知症コラム」欄を設けて認知症についての基礎知識などを継続的に連載して、家族や地域の人達に理解が深まるような取り組みが行われています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいます。また、外部評価の結果についても運営推進会議で報告され改善の機会として取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、本年度評価日現在1回実施されています。議題は、年間目標(介助理念)、年間行事予定について 事業所の利用状況について 外部評価の結果について 消防避難訓練について(消防署との協力体制) 運営推進会議への要望や取り組みについて
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 「もえからのお手紙」を毎月発行して、認知症コラムの掲載や利用者の日常の暮らしぶり、行事参加の様子など家族に情報提供され意見や不安など言いやすい環境作りに取り組まれています。また、年一度 家族懇談会を実施して、家族の意見、苦情など話し合わせそれらを運営に活かす取り組みが行われています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地元商店での買い物で季節の食材購入で地域貢献を心がける取り組みや併設されているデイサービスで地域の人たちとの交流など日常生活を通じて地域との連携が行われています。また、小学校の運動会・学芸会や父兄との焼肉パーティーに参加したり、お祭りや盆踊りなどの行事を通じて地域の人達との交流が図られています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念をもとに、年間目標を具体的に設定して、職員間で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は具体的な年間目標を掲げ運営向上委員会で理念の実践に向けて具体的な活動に日々取り組んでいる。		特筆すべき点として、運営向上委員会で各事業所の内部監査を実施してP-D-C-Aサイクルが機能する仕組みが整備されている。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元商店での買い物で季節の食材購入で地域貢献を心がける取り組みや併設されているデイサービスで地域の人たちとの交流など日常生活を通じて地域との連携が行われています。また、小学校の運動会・学芸会や父兄との焼肉パーティーに参加などを通じて地域の人達との交流が図られている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。また、外部評価の結果についても運営推進会議で報告され改善の機会として取り組まれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、本年度 評価日現在1回開催されている。メンバーは家族、行政、地域の学校長、管理者・職員で構成され具体的に取り組んでいる。</p>		<p>今後は、運営推進会議を二ヶ月に一度 定期的に行われ議事録を整理されることを期待します。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所及び管理者は、増毛町職員と運営推進会議の議事についての相談や連携について日々取り組んでいる。</p>		
<p>4. 理念を実践するための体制</p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「もえからのお手紙」を毎月発行して、認知症コラムの掲載や利用者の日常の暮らしぶり、行事参加の様子など家族に情報提供され意見や不安など言いやすい環境作りに取り組まれています。</p>		<p>特筆すべき点として、認知症コラムを便りに連載して、認知症への理解と広報に取り組んでいます。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族懇談会を開催して、苦情や要望などの質問・意見を聞く機会を作ったり、来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組み、それらを運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の定着率は安定している。また、「もえからのお手紙」や家族懇談会で職員の紹介や利用者の情報を提供している。管理者は、職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>教育・訓練の年間計画のもと内部・外部研修参加を奨励し、職員を育てる取り組みがされている。また、職場内では、毎月内部研修が実施されている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>運営向上委員会を設置して、法人内の他施設との交流などケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>併設されているデイサービスとの交流が行われ地域に密着した活動が行われている。また、本人が安心して納得したサービスが受けられるように入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員も利用者と一緒に調理や食事の準備や後片付けをしたり、一緒に掃除など行き支えあう関係を築いている。</p>		<p>今後は、認知症ケアに有効とされるセンター方式についても今後さらに取り組んでいく計画がある。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>近隣の散歩や買い物、地域の祭りや盆踊りなどの行事参加、花壇づくりや畑作業など外出の機会を作ったり、料理の準備や歌唱、音楽療法などへ参加など本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、定期的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々々の希望や要望に応じて通院や往診、買い物や散歩、ドライブ、入浴など柔軟に支援を行っている。また、音楽療法や機能訓練への参加などにも対応されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者を良く知る主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、往診、訪問歯科など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、医師や家族と相談しながら職員間で共有される取り組みがされている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した言葉かけが行われ、記録等の個人情報の扱いについても個人情報保護法に対応した取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを尊重して、散歩や買い物、食事の準備・後片付け、編み物、花壇の手入れ、音楽療法や体操への参加など本人の希望に沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって楽しんで食事の準備や後片付けをしている。また、職員も一緒に食事をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は週3回(月、水、金)利用者の希望に応じて対応している。また、デイサービスの大浴場も利用したりしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	散歩や買い物、ドライブ、菜園や花壇作りなど戸外での気分転換や嚙下体操や音楽療法への参加を通じて身体機能の維持・向上ができるように支援されている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	花見や公園までのドライブ、食材購入などの買い物、中庭での焼肉や流しソーメン、学校の運動会や学芸会見物、祭りや盆踊りなど地域の行事への参加など気分転換や心身のリフレッシュができるように支援がされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、玄関は、鍵をかけないケアに取り組んでいる。利用者が外出する時は、安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練や救急救命訓練が実施されている。また、消火訓練も実施され対策されている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な水分・食事摂取量が記録され、栄養バランスや摂取カロリーについてもおおよそ把握され、栄養士・医師の指導・アドバイスも受けて支援されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者にとって気になる臭いや空気のよどみは感じられない。共用空間は、利用者が集い談笑したり、趣味などの塗り絵をしたり自由に過ごせる空間となっている。庭では、焼肉パーティや流しソーメンなどが行われたり、花壇の手入れやベンチでは日光浴を楽しめるスペースが用意されている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、使い慣れた家具や生活用品などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。また、家族も宿泊でき利用者と一緒に過ごすことも可能となっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。